



部活に限った話ではありませんが、卒業後に社会に出るにあたって、安全管理を徹底した指導を心がけています。食農科学部で「搾乳ができるようになった」など、生徒達にとって成功体験と思えるような経験を重ねてほしいです。(奥田 寛人先生)



農業機械に興味があり本校を選びました。機械科では触れることのない牛と関わりたいと思い入部しました。先輩には言葉で伝えるよりも行動で示してお手本になれるような存在でありたいです。ものづくりが好きで製造系の仕事に興味があります。卒業までに資格を増やして将来の武器にしたいです。(3年生、部長・池田雄皇さん)



実家が米農家で、農業を勉強するために本校への入学を決めました。機械科所属で、機械に触れる機会が多く、生きた動物と関わりたいという理由で入部しました。在学中に取得可能な資格を取っておきたいので、勉強にも精を出し、資格取得を目指します。(2年生、鈴木 颯太さん)



興味があった農業について幅広く学べる本校に入学を決めました。地元で経済動物が活躍しているのを見て農業に興味を持ちました。入部してまだ1カ月で、わからないことが多いので、まずは慣れることが目標です。(1年生、後藤 和希さん)



**地域の先輩酪農家とのつながり**  
共進会では卒業生の酪農家が毛刈りを協力してくれるなど、地域とのつながりも大切に取り組んでいる。

**概要**  
宮城県加美農業高等学校 食農科学部 畜産班  
1年生1名、2年生3名、3年生2名、計6名  
教員：4名  
対尻式繋ぎ牛舎(経産牛11頭、未経産牛6頭、和牛4頭、子牛5頭)  
活動内容：農業高校のなかで本州一の敷地面積を持つ加美農業高等学校。飼養管理を中心に共進会の出場に向けて調教も行なう。月～金曜日の5日間が活動日。  
担当教諭：菅原 勝志先生

(取材=小川)



酪農に憧れや興味を抱き、実践をとおして酪農を学ぶ学生達は今、何に興味を持ち、どのような活躍をしているのか？  
未来の酪農業界を担う期待の星を紹介！

NO.19

宮城県加美農業高等学校



本校を選んだのは寮があり、実習が多く、動物に関わりたいたいと感じたからです。実家は酪農を営んでおり、将来は実家を継ぎたいと思っています。日々の作業では、自分から率先して動けるようになることが目標です。卒業後は進学してもっと牛の知識を深めたいです。(2年生、山内 春奈さん)



祖父が和牛繁殖農家で、将来はそれを継ぎたいと思い、牛のことを学べる本校を選びました。ここで牛のことを勉強して将来に活かしたいです。家での技術や高校で学んだ技術を、家と学校の両方で活かしています。和牛と乳牛どちらも体験できることに魅力を感じています。(2年生、早坂 松頼さん)



実は畜産を教えるのは初めてで、私も日々勉強のために生徒達と一緒に除糞や給飼を行なっています。牛をはじめとして動物が好きな生徒が多いので、「生き物」に対する感謝や愛情をさらに深めてほしいです。教育ファームなどを通じて、命をつなぐ大切さをほかの人達に伝えられる人になってほしいです。(菅原 勝志先生)



本校に赴任して2年目です。初めての畜産で、生徒達と一緒に作業しながら日々勉強しています。農業や畜産をとおして食の大切さや、命の大切さを学んでほしいです。実習を通じて協力すること、相手を思いやる気持ち、挨拶など基本的なことを大切にしてほしいと思っています。(内海 紘平先生)

学生牛部は今!